



南国俳壇

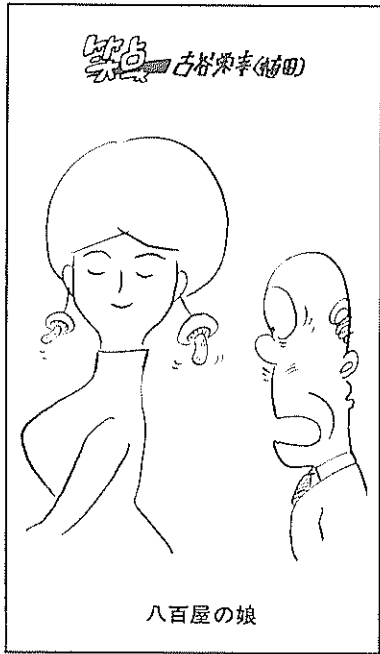
漸くに暑きの過ぎし白露かな
飼はれ居る鈴虫かとも付ちて聞く
摘みてすぐ萎える秋の草なれど
炎天がふといとなみを空しゅうす
無風帯の蟬せつせつと紅い花
幕城より袖に綻きくる糸蜻蛉
雲の峰いつもの高き師の思くる
ひぐらしの声の離るる高野杉
海女の子の手花火海へ滴らす

南国歌壇

そのあたり明るく染めて咲き続く
夾竹桃の確かなる位置
大埔 谷本深雪
はつ秋をとめのもゆるいのちと
も 熱き色なすけいとうの花
大埔 中田憲秀

南国柳壇

歌を詠み一と年迎えし今朝の日の
朝日に向かいて何やら来し
立田 北村幸江
訪つれし伸びゆく孫に驚きつ
吾鏡にしわの深きを見入る
下野田 徳久まきみ



八百屋の娘

人生の一度しかない今日が暮れ
古市 島田八重子
星取ると高く指し上ぐ孫を卒
立田 清岡照子
巻通い親の投資の華な夢
植田 吉本其梅
共稼ぎ別々に出る勘ねた朝
常通寺島 橋田井波

南国俳壇

小松千都 (柿の実念)
井上さえ ()
橋本きよ女 ()
岡崎美枝 (念冬句念)
公文政子 ()
馬場左枝 ()
橋本和子 (灯俳句念)
岡田静子 ()
田村一翠 ()

南国柳壇

歌を詠み一と年迎えし今朝の日の
朝日に向かいて何やら来し
立田 北村幸江
訪つれし伸びゆく孫に驚きつ
吾鏡にしわの深きを見入る
下野田 徳久まきみ

南国歌壇

そのあたり明るく染めて咲き続く
夾竹桃の確かなる位置
大埔 谷本深雪
はつ秋をとめのもゆるいのちと
も 熱き色なすけいとうの花
大埔 中田憲秀

南国柳壇

歌を詠み一と年迎えし今朝の日の
朝日に向かいて何やら来し
立田 北村幸江
訪つれし伸びゆく孫に驚きつ
吾鏡にしわの深きを見入る
下野田 徳久まきみ

南国柳壇

人生の一度しかない今日が暮れ
古市 島田八重子
星取ると高く指し上ぐ孫を卒
立田 清岡照子
巻通い親の投資の華な夢
植田 吉本其梅
共稼ぎ別々に出る勘ねた朝
常通寺島 橋田井波



南国俳壇

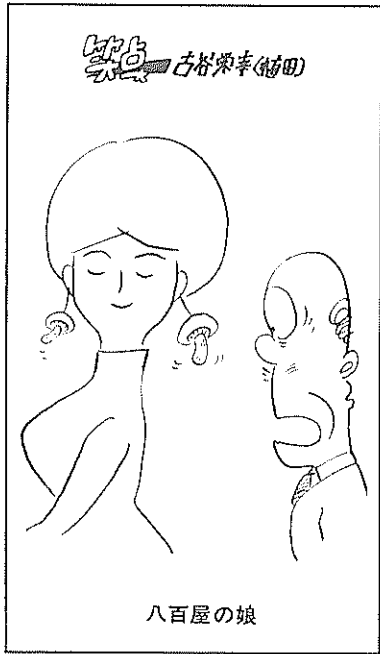
漸くに暑きの過ぎし白露かな
飼はれ居る鈴虫かとも付ちて聞く
摘みてすぐ萎える秋の草なれど
炎天がふといとなみを空しゅうす
無風帯の蟬せつせつと紅い花
幕城より袖に綻きくる糸蜻蛉
雲の峰いつもの高き師の思くる
ひぐらしの声の離るる高野杉
海女の子の手花火海へ滴らす

南国歌壇

そのあたり明るく染めて咲き続く
夾竹桃の確かなる位置
大埔 谷本深雪
はつ秋をとめのもゆるいのちと
も 熱き色なすけいとうの花
大埔 中田憲秀

南国柳壇

歌を詠み一と年迎えし今朝の日の
朝日に向かいて何やら来し
立田 北村幸江
訪つれし伸びゆく孫に驚きつ
吾鏡にしわの深きを見入る
下野田 徳久まきみ



八百屋の娘

人生の一度しかない今日が暮れ
古市 島田八重子
星取ると高く指し上ぐ孫を卒
立田 清岡照子
巻通い親の投資の華な夢
植田 吉本其梅
共稼ぎ別々に出る勘ねた朝
常通寺島 橋田井波

南国俳壇

小松千都 (柿の実念)
井上さえ ()
橋本きよ女 ()
岡崎美枝 (念冬句念)
公文政子 ()
馬場左枝 ()
橋本和子 (灯俳句念)
岡田静子 ()
田村一翠 ()

南国柳壇

歌を詠み一と年迎えし今朝の日の
朝日に向かいて何やら来し
立田 北村幸江
訪つれし伸びゆく孫に驚きつ
吾鏡にしわの深きを見入る
下野田 徳久まきみ

南国歌壇

そのあたり明るく染めて咲き続く
夾竹桃の確かなる位置
大埔 谷本深雪
はつ秋をとめのもゆるいのちと
も 熱き色なすけいとうの花
大埔 中田憲秀

南国柳壇

歌を詠み一と年迎えし今朝の日の
朝日に向かいて何やら来し
立田 北村幸江
訪つれし伸びゆく孫に驚きつ
吾鏡にしわの深きを見入る
下野田 徳久まきみ

南国柳壇

人生の一度しかない今日が暮れ
古市 島田八重子
星取ると高く指し上ぐ孫を卒
立田 清岡照子
巻通い親の投資の華な夢
植田 吉本其梅
共稼ぎ別々に出る勘ねた朝
常通寺島 橋田井波

久礼田小学校 (西岡万平校長、生徒二百八十三人)の体育館建設起工式が、九月六日午後から、校舎東側の敷地に小笠原市長をはじめ地元市議ら関係者を集め、行われました。

これは、これまでは講堂を使っていたものが老朽化したため、体育館を建設するもの。鉄筋鉄骨造りで、床面積五百七十三平方メートル、約五千万円の経費となつていきます。これには地域住民の寄付三百十万円もあり、来年一月完成の予定となっています。



九月二十一日から十日間、秋の交通安全運動が行われ、本市では南国バイパス明見と三十二号線岡豊で安全運転を呼びかけました。

清涼飲料水をサービスし、指導した。警察官の誘導で道路わきの広場に導かれたドライバーに、婦人が冷たい飲みものと笑顔で応待しました。

『農機具まつり』盛会で終る

今年で第三十回を迎えた『高知県農機具まつり』が、九月九日から三日間、甘枝の農機具試験場に約四十社の農機具メーカーが出店して開かれました。

内容は、例年どおりの農機具の展示や実演、即売、農事相談のほか、三十回を記念して八歳以下の子供たちを対象にした『めり絵』を募集、訪れたお母さんたちに人気を呼んでいました。

この定着した『まつり』を今後ますます発展させていくためには、主催者をはじめ関係機関がたゆまぬ努力をし、いろいろな課題をなくしていく必要を感じました。



狸のたたり

琴平山のもとに近いところに相当広いひのきの植林がある。時は終戦直後の混乱期で人手が少なく、下草は伸び放題になっていた。たまたま近所で飲み友だちの兼助、吉馬、直太郎の三人がこの話を聞いて下草刈りをするようになった。

早速とりかかったが第一日目から大失敗。一番若い兼助の力まかせに振り下ろした鎌が、いやというほど自分の膝小僧にあたりたからたまらない。すぐ病院に運ばれたがなかなかの重傷。

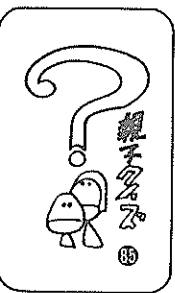
よく見るとそばに狸の巣らしい大きな穴がある。二人はまんじゅうを供え、頭を下げておことわりした。

まじゅうを倍にしてお供えすると、不思議なことに病気がけろりと治った。



狸のたたり

「ご家庭で話し合ってお答えください。答えは今月号の広報に出ています。」



親子のたたり

■もんだい・市民参加の『文化の祭り』である第五回文化祭が、○月二十九日から開かれます。
■しめきり・十月十六日(月)
■おくり先・〒783 南国市大埔甲2301 南国市役所内 広報委員会 親子クイズ係
■答えのハガキには必ずお歳・職業・住所を書いてください。
■しょうひん・特賞千円〇三人、残念賞(記念品)五人
■第八十四回正解者発表
■こたえ(○)月二十六日でした。
■特賞・千円〇三人
■杉本 薫さん(大地)
■大和田哲彦くん(稲生北地)
■竹内晴博くん(大地)
■残念賞・記念品〇五人
■橋村宏朗(岡豊町滝本) 竹村貞夫(久礼田) 山本トミル(大地) 松岡道正(稲生) 田村美智子(後免町)
おめでとうございました。これからもどうぞご応募ください。